

令和6年度 第65回 福井県PTA 連合会研究大会 楽しむけれど 無理しない みんなでつながる こどもまんなか PTA

主催 福井県PTA連合会 後援 福井県教育委員会
 協賛 福井県保険業協同組合 東京海上日動保険株式会社
 日時 令和6年12月15日(日) 午前10時00分～11時40分
 会場 福井県国際交流会館 多目的ホール
 日程 (1) 受付 9:30～9:55
 (内容) (2) 開会式 10:00～10:30

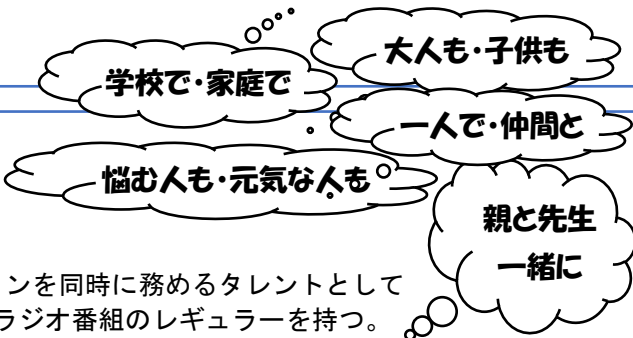
申込先: 子供さん在籍の学校
 ※会場参加またはオンライン
 視聴をお伝えください
 ※会場座席数により、オンラインでの参加となる場合があります。

・開会の言葉 ・来賓祝辞 ・来賓紹介 ・「一筆啓上 わが家の三原則」表彰式

(3) 講演 10:40～11:40

・講師 大川 はるな 氏、 ゲスト 大川 祥代 氏 ・演題 私が選んだ道
 不登校時の実体験を元に、当時の想いや参加した活動について母親の祥代様を交えてのお話の会です。

(4) 諸連絡・閉会の言葉



講演 『私が選んだ道』



大川 はるな 氏

2001.3.27生まれ

現在23歳 主演とナレーションを同時に務めるタレントとして
 数々のCMや、テレビ番組・ラジオ番組のレギュラーを持つ。
 得意なことは台本無しのステージ。

高校1年生から福井県公式キャラ「Juratic」MC はるなお姉さんとして活動。
 高校生MCとして県内外のステージに毎週末立つ。

18歳の高校卒業時からは 県内外でフリータレントとして活動中。

中学2年生秋から不登校を経験。「大人になったらどうやって生きていけばいいん

だろう。」学校へ行けない自分に悩む日々。しかし、ある時を境に、我慢ばかりで
 はなく「好きなことをして生きていこう」と決め、自らの人生を実験台に、本当に
 好きなことだけをして生きていけるのか 検証をはじめた。(現在も進行中)

★音楽投稿アプリを使って自身の歌を投稿。「NHKのど自慢大会」に出場。

☆「不登校つながりカフェ」に講師として参加し、自らの体験を語る

★不登校中(中3)に、「現役不登校生が語る講演会」を計3回自主開催。

《参加者感想「現役 中3 不登校生 大川晴菜 お話会」》

- ・ ぼくは学校が楽しいけど、いい話だった。(小6男子)
- ・ 話の内容もよかったが、何より、大川親子の「横の関係」を実際に目で見て、体感できたことが、今日ここに来られた方に大きな意味があったと思う。
- ・ 話の中で、晴菜さんが小5の時に、母親としての役割に悩んでいる祥代さんに言った言葉、「ママって人はいないんだから、大川祥代でいいんじゃない？」これほど柔らかな言葉を、私はこれまで聞いたことがない。そんな素敵な言葉と生き方が飛び交う講演会でした。
- ・ 晴菜さんの言葉は軽やかで、自分の正直な気持ちを伝えることを心から楽しんでいるように見えた。「自分の道を行っても、他人の道を行ってもいい」「明るくても、悩んでもいい」これを聞いてハッとさせられた。素朴だけれど私たちが忘れがちなこと…。世界は驚くほど広く、様々な人達がいて、様々な生き方がある。一つの答えを決める必要なんてないのだ。
- ・ 「引き出し」が新たにできて、これから子育て等に悩んだ時、ちょっと楽に考えられるかもしれないと感じています。

☆SNSでの自己発信を始める。 https://www.instagram.com/haruna.okawa/p/C4-1_ZrraSc/

★TVCMの主演、ナレーションをする。TV番組レポーター、食レポに挑戦する。

[不登校→好きなことをやり続けた結果 | 大川 晴菜 https://note.com/haruna0327/n/n93762fb03a6b](https://note.com/haruna0327/n/n93762fb03a6b)



(ゲスト)大川 祥代 氏

過去養護教諭として、多くの不登校の子供達、保護者と関わる。

現在は公認心理師として活動中。

「講演会後半部分で、娘晴菜との対話を通して、不登校当時の母親としての葛藤や赤裸々な思いをお伝えします。」

YouTube 同時配信 (URLは、後日連絡) 家族で学ぶ・仲間と学ぶ